

# 仁川上流から 奥池・ゴロゴロ岳・観音山を歩く

第 118 回武庫川エコハイク  
20170311.エコグループ・武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川溪谷で V 字谷になる一風変わった川である。この溪谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。

ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

**仁川** 西宮夷神に山の幸を奉ずるに贄部(にえぶ)が住んでいたことから贄川(にえかわ)が訛ったものか、天井川で大雨の時にしか流れないにじみ川からとか言われている。六甲山頂近く石の宝殿の南側に源流を持ち、西宮カントリー倶楽部の中を抜け甲山の北側を通り、仁川溪谷を抜けて流れる。暴れ川仁川の河川改修が完成したのは大正 10(1921)年。

**西宮カントリー倶楽部** 県道明石・神戸・宝塚線が社家郷山を横切る一帯に西宮カントリー倶楽部のゴルフコースがある。18 ホール、89 万 m<sup>2</sup>。もと自衛隊の演習場だった土地を中心に、西宮市の肝いりで昭和 29(1954)年社団法人として設立され、同 30(1955)年オープンした。ゴルフ会員権相場は宝塚ゴルフと並ぶ双壁。

**かぶとやま荘と六甲保養荘** 盤滝口、樫ヶ峰の麓にある。かぶとやま荘は西宮市の日帰り老人福祉保養施設。隣接してある六甲保養荘はひょうご憩の宿(公共の宿)のひとつで宿泊できる。かぶとやま荘と六甲保養荘ともに仁川上流にある毘沙門鉱泉を引いている。

**湯の口取水口** 仁川本流の盤滝口にある。下部と山の南麓の広田神社一帯の社家郷山の水は仁川本流に流れ、社家郷に流れないのでこれを社家郷に流そうと仁川から取水するため堰を設け、トンネルを掘り湯の口とした。仁川下流の五ヶ庄(大市庄ほか)の農民がこれを妨害しようとしたが、広田神社神官であった中村紋左衛門が神官の装束に般若の面をつけて岩上に立ちこれらの農民を畏れさせ作業が順調に進んだという伝承がある。広田神社境内に「兜麓底績碑(とろくていせきひ)」が建てられている。今は北山貯水池から夙川に送られている。

**盤滝(ばんたき)** 仁川上流にある滝のひとつ。落差約 10m。西宮北部に抜ける有料トンネルは盤滝トンネルという

**大藪谷** 観音山から仁川上流に注ぐ。自然が残る谷。

**ゴロゴロ岳(ごろごろ岳)** 標高 565.3m。最初の測量時 565.6m だったことからゴロゴロ岳という。阪神淡路大震災時に現在の標高になったという。

**観音山** 標高 526m。鷲林寺の西にあり、鷲林寺のすぐ西にあるので観音山という。山頂からの東側の甲山、北山貯水池、大阪平野などの展望は素晴らしい。甲山と同じサヌカイトの二上山も生駒山系の南側に遠望できる。

**奥池** 天保年間芦屋村年寄猿丸又左衛門ほか約 20 年の年月をかけて完成させたため池。面積 38 ヘクタール。昭和 47(1972)年に南接して奥山池が完成芦屋市の上水道源となった。周辺は昭和 33(1958)年芦屋市の財界人が設立した芦有開発(株)が有馬と芦屋を結ぶ有料道路「芦有ドライブウェイ」の建設(昭和 36(1961)年開通)、周辺住宅開発(昭和 44 年～)、兵庫県ユースホテル、兵庫県ユネスコ会館を誘致したが。それぞれ平成 12 年、昭和 61 年閉館した。

**鷲林寺(じゅうりんじ)** 天長 10(833)年淳和天皇の勅願により弘法大師が開祖した高野山真言宗の寺院である。六甲山鷲林寺。本尊は十一面観音立像。最盛時には 76 坊を数えていたが、天正 7(1579)年荒き村重の乱の戦火で焼かれた。今は観音堂、多宝塔などがある。参道右側墓地の西隅にある石造七重塔は市内最古の石造遺品として市の文化財とされている。これは武田信玄の墓とも言われる。周辺には甲斐姓の家が散見される。

**鷲林寺の伝承** 弘法大師が観音霊場の地を求めてこの地に来たときソラジンといわれる神が口から火を吹き大師の入山を妨げた。大師は傍らの木を切り、湧き出る六甲の清水を浸して加持をし、大鷲を桜の霊木に閉じ込めた。この霊木で本尊十一面観音を刻み寺号を鷲林寺と名付けソラジンは荒神として祀られた。

**西宮トラピスト修道院** シトー会西宮の聖母修道院。昭和 44(1969)年村野藤吾の設計により建築された。

**甲山(かぶとやま)** 標高 309m。甲山は六甲山と異なり、およそ 1200 万年前に噴火によって生まれた二上山、石鎚山、屋島と同じ安山岩質(サヌカイト)の山である。サヌカイト(讃岐岩)は地下のマグマが固まったもので、初めは今より裾野の広い大きな山であったが風化によって火口付近だけが残り現在の山容になった。六甲変動が起きたのは 50~60 万年前のため、甲山は古代湖に浮かぶ島であったという。甲山は周囲から独立して識別しやすいことからその森林は航行目標保安林に指定されている。

**神呪寺(かんのうじ)** 真言宗御室派別格本山。山号は甲山。神呪寺は「甲山のお大師さん」の名で親しまれ、毎月 21 日のお大師様の縁日には参詣の人で賑わう。天長 8(831)年で弘法大師が創建された。本尊は如意輪観音で弘法大師が刻まれたと伝えられている。淳和天皇の皇后正子内親王が如意輪観音を信仰され、夢のお告げでこの地に寺を建立されたという。河内長野の観心寺、奈良の室生寺と並んで平安初期の名作といわれている。国指定重要文化財。

**北山貯水池** 西宮市の貯水池。昭和 43(1968)年完成の人造湖で 5 つのアースダムからなり、観音川、仁川の水を集める。放水路は水分谷を経て銀水橋付近で夙川上流に注ぐ。現在は上水として使用されていない。市南部の上水源は阪神水道である。